

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災行政デジタル無線（MCA無線）整備事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	鶴巻 浩二			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	避難所等の施設、防災機関、自主防災組織・自治会等	意図	電話が不通となるような大規模災害時において、対象施設との音声通信手段を確保する。
事業内容	市役所防災行政無線室に指令局を設置するとともに、避難所等の施設や防災関係機関等に携帯局を配置する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年度に対象施設55箇所、平成25年度には45箇所、平成27年度には1箇所配置し、合計101箇所の対象施設に配置した。なお、配置済みの施設等との間で定期的に通信訓練を実施している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	災害予防について安全だと思える人の割合	49.50	50.70	53.40	%
②	防災行政デジタル無線（MCA無線）配備箇所	100	100	101	箇所	→→	おおたかの森小中学校
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業の総コスト(a=b+c)	23,389,950		1,176,360	平成24、25年度にかけて対象施設に無線機を配置した。また、平成27年度は、おおたかの森小・中学校に新たに1箇所設置した。			
事業費(b)(円)	19,896,450		423,360	配置済みの施設等との間で定期的に通信訓練を実施するとともに、市及び各地域の防災訓練等において通信訓練を実施し、関係者全員が使用方法に習熟し、災害時に有効活用できるようにする。			
うち一般財源	19,896,450		423,360				
職員給与費(c)(円)	3,493,500		753,000				
人役・職員(人)	0.50		0.10				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	維持管理のみ。	③取組の課題	実際に使えるように、定期的に訓練を実施し習熟を図る。
②今年度(H27)に実施した取組	維持管理のみ。	④今後の改善計画	関係者が操作できるよう市及び各地域の防災訓練等において通信訓練を行う。